# 就任のご挨拶

深川医師会

会長　松本　三樹

本年６月の深川医師会総会で医師会長を拝命しました。これまで成田先生、林先生のもとで６年間副会長を務め、順番が回ってきた次第です。

さて、当地（北空知）でも人口減少と高齢化が進んでおり、本年度中に人口が３万人を下回り、10年後にはさらに20％の人口減が推定されています（他方、いわゆる後期高齢者は漸増します）。このような状況下で当会の会員数も減少しつつあり（現在は65名）、会員の平均年齢も既に60歳を超えています。

従って、中期的な課題としては、まず「これまで当会が担ってきた地域医療・介護などへの貢献」を継続させることが挙げられます。また、道内では数少なくなった「医師会附属准看護学院」も維持していかなければなりません。いずれにおいてもマンパワー、会員相互の連携と協力、財力などが不可欠な要素です。会員諸氏および関係者の皆様のご尽力を心からお願い申しあげる次第です。

短期的にはCOVID-19への対応が喫緊の課題であることは申しあげるまでもありません。当会でも９月１日現在まで５回以上の話し合いを重ねて、ようやく（情緒的な表現ですが）医師会として現実的に何ができるのかが浮かび上がってきました。深川市立病院と連携を保ちながら対応していく所存です。

最後に簡単に自己紹介を致します。1982年に愛媛大学医学部を卒業して旭川医科大学精神科に入局。大学院修了後、同科の助手・講師を務め（この間文部省長期在外研究員として米国に渡航）、1999年５月に現在の吉本病院に赴任しました。2013年からは同院の理事長を務めています。趣味といえるようなものはありません。以前はたまに70台でラウンドしていましたが、３年半程前に病気をしてからすっかりご無沙汰しています。最近は体力の衰えを実感し、時折ロードバイクで散歩しています。

今後ともどうぞよろしくお願い申しあげます。

## お知らせ

## ―独立行政法人福祉医療機構の新型コロナウイルス対応支援資金をかたる不審な訪問・勧誘の注意喚起について―

◇医業経営・福利厚生部◇

独立行政法人福祉医療機構につきましては、新型コロナウイルス対応支援資金により医療関係施設等に対して支援を行っておりますが、当該資金に関して不審な訪問や電話等の情報が複数寄せられているとのことです。同機構は訪問や電話等の勧誘は一切行っておらず、不審な情報がございましたら下記連絡先までお問い合わせください。

**【不審な情報に関する連絡先：独立行政法人福祉医療機構】**

福祉貸付専用ご相談フリーダイヤル：0120-343-862
医療貸付専用ご相談フリーダイヤル：0120-343-863
※携帯電話等でつながらない場合：03-3438-0403
ホームページアドレス：https://www.wam.go.jp/hp/